

2026 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 ア ス ク ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 吉 岡 晃
 (コード番号:2678 東証プライム)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 C F O 玉 井 継 尋
 TEL 03-4330-5130

その他の関係会社の決算に関するお知らせ

本日、当社のその他の関係会社である LINE ヤフー株式会社（本店所在地：東京都千代田区紀尾井町 1-3、代表者：代表取締役社長 CEO 出澤 剛）より、2025 年度第 3 四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料が発表されましたが、その資料に当社に関する記載がありましたので、該当ページに関し別添のとおりお知らせいたします。

添付資料中、当社の業績に関する記載がございますが、以下のとおり LINE ヤフー株式会社と当社の各連結会計期間は異なり、また、両社の会計基準等の違い※により当社が公表する決算数値とは合致いたしません。

※当社は日本基準、LINE ヤフー株式会社は IFRS を会計基準に適用

連結会計期間	LINE ヤフー株式会社	当社
第 3 四半期	2025 年 10 月 1 日～2025 年 12 月 31 日	2025 年 11 月 21 日 ～2026 年 2 月 20 日
	・ 添付資料中 1 ページ目および 7 ページ目に記載のアスクル連結四半期売上高 ・ 添付資料中 1 ページ目および 2 ページ目に記載の調整後 EBITDA ・ 添付資料中 3 ページ目に記載のアスクル BtoB 事業（インターネット経由）の四半期売上高 ・ 添付資料中 4 ページ目に記載のアスクル連結四半期営業利益 ・ 添付資料中 5 ページ目に記載の調整後当期利益 ・ 添付資料中 6 ページ目に記載の調整後 EPS	

別添 LINE ヤフー株式会社 2025 年第 3 四半期 決算説明会プレゼンテーション資料（抜粋）

(注)2025 年 11 月 20 日時点で LINE ヤフー株式会社は当社発行済株式総数の 46.76%を所有しております。

以 上

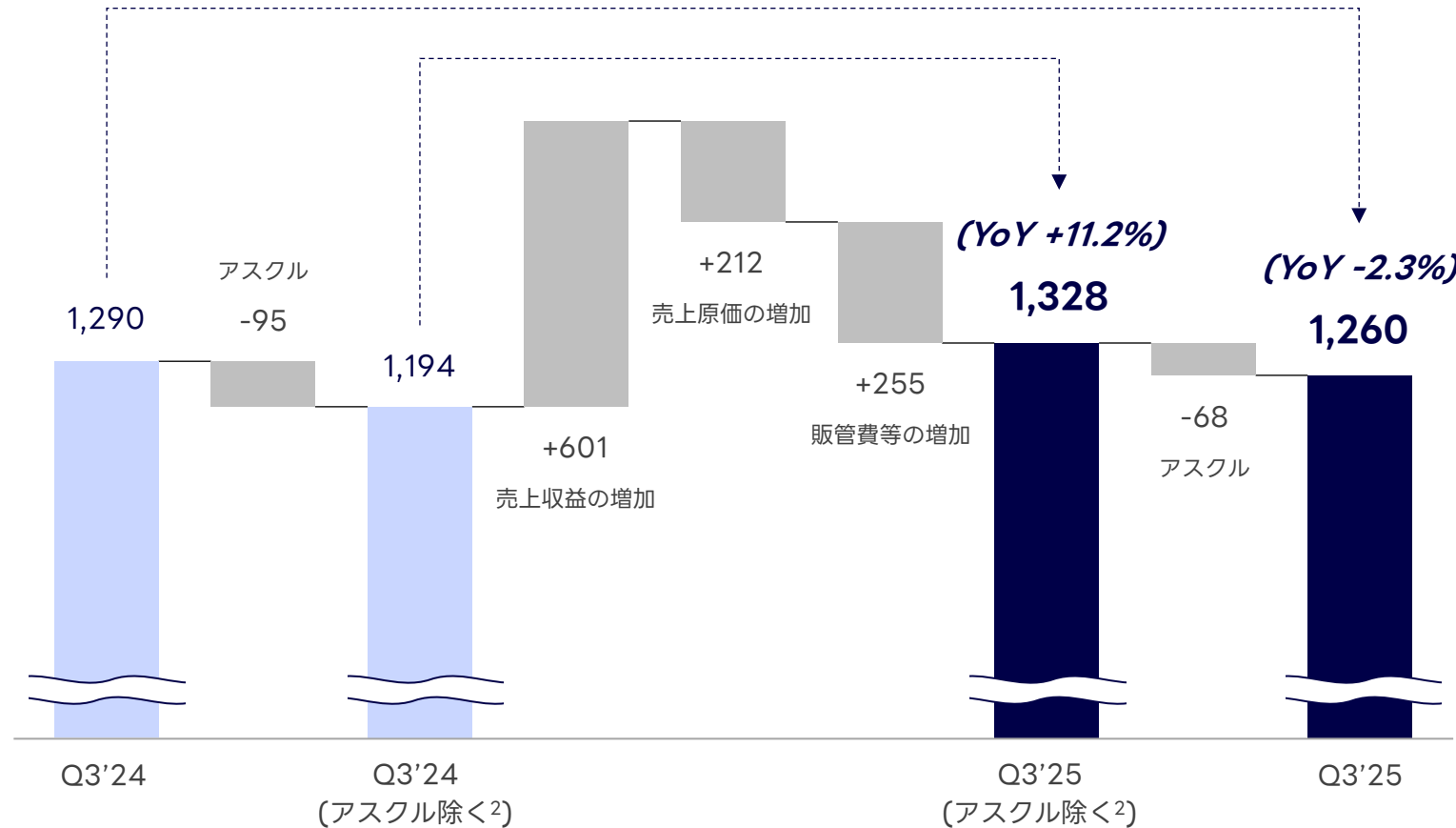
全社 売上収益・調整後EBITDAは、アスクル除くベースで2桁%の増収増益

				アスクル除く ¹	
セグメント	項目	FY2025 Q3	増減率 (YoY)	FY2025 Q3	増減率 (YoY)
全社	売上収益	4,999 億円	-0.7 %	4,426 億円	+15.7 %
	調整後EBITDA	1,260 億円	-2.3 %	1,328 億円	+11.2 %
	調整後EPS	7.30 円	-1.5 %	7.57 円	+8.7 %
メディア	売上収益	1,870 億円	+0.1 %	1,870 億円	+0.1 %
	調整後EBITDA	728 億円	-2.8 %	728 億円	-2.8 %
コマース	売上収益	1,949 億円	-13.8 %	1,376 億円	+31.0 %
	調整後EBITDA	304 億円	-27.2 %	373 億円	+15.5 %
戦略	売上収益	1,184 億円	+30.0 %	1,184 億円	+30.0 %
	調整後EBITDA	263 億円	+46.4 %	263 億円	+46.4 %
その他・調整額	調整後EBITDA	-36 億円	-	-36 億円	-

1. FY24Q3、FY25Q3の実績値からアスクルを除いたベース

調整後EBITDA¹増減分析

(億円)



売上収益: +601億円

(アスクル除く²)

- メディア: +1億円
 - 検索広告: -46億円
 - アカウント広告: +46億円
 - ディスプレイ広告: +5億円
- コマース: +325億円
 - LINEヤフー: +285億円
 - ZOZO: +39億円
- 戦略: +273億円
 - PayPay連結: +191億円
 - LINE Bank台湾: +54億円

売上原価: +212億円

- メディア: -8億円
- コマース: +181億円
 - BEENOS: +21億円
 - その他: 160億円
- 戦略: +47億円
 - PayPay連結: +14億円
 - LINE Bank台湾: +27億円

販管費等: +255億円

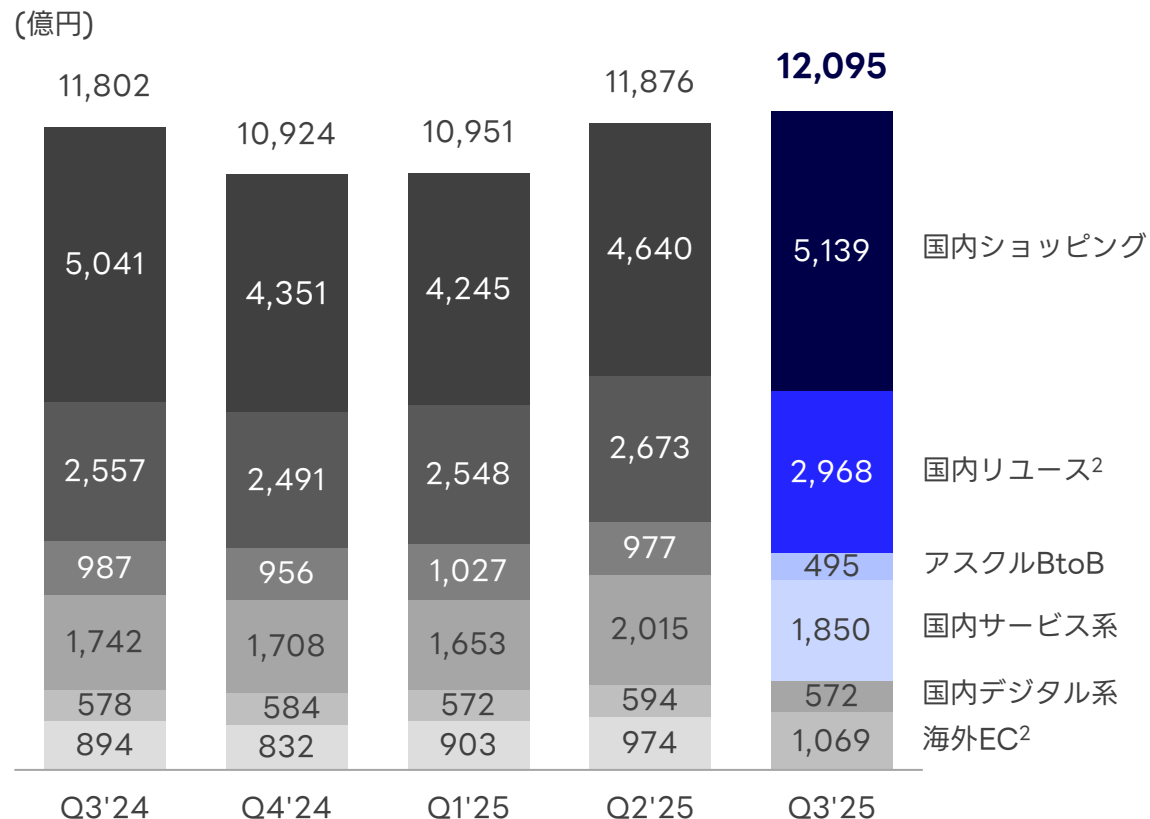
- LINEヤフー
 - コマース: +109億円
 - メディア: +37億円
- PayPay連結: +65億円
- LINE Bank台湾: +27億円
- ZOZO: +10億円

1. 調整後EBITDA:営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費等。EBITDA調整項目:営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加

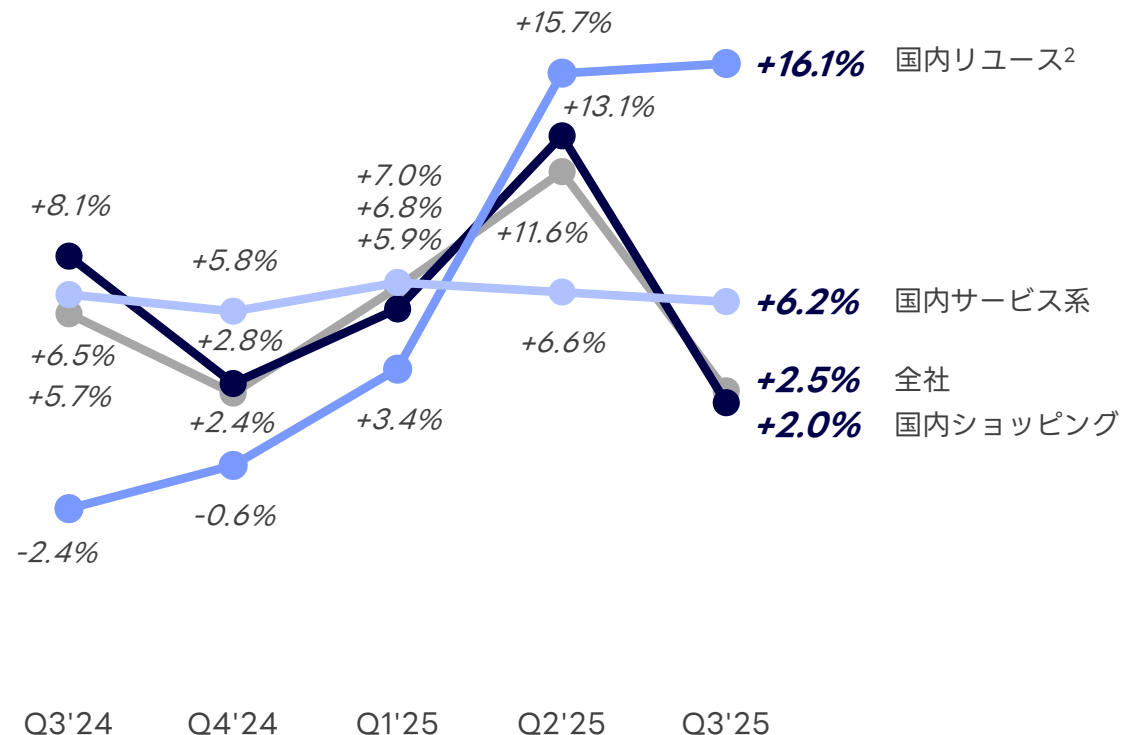
2. FY24Q3、FY25Q3の実績値からアスクルを除いたベース

リユースはフリマが成長。ショッピングはふるさと納税の反動減

全社 eコマース取扱高¹



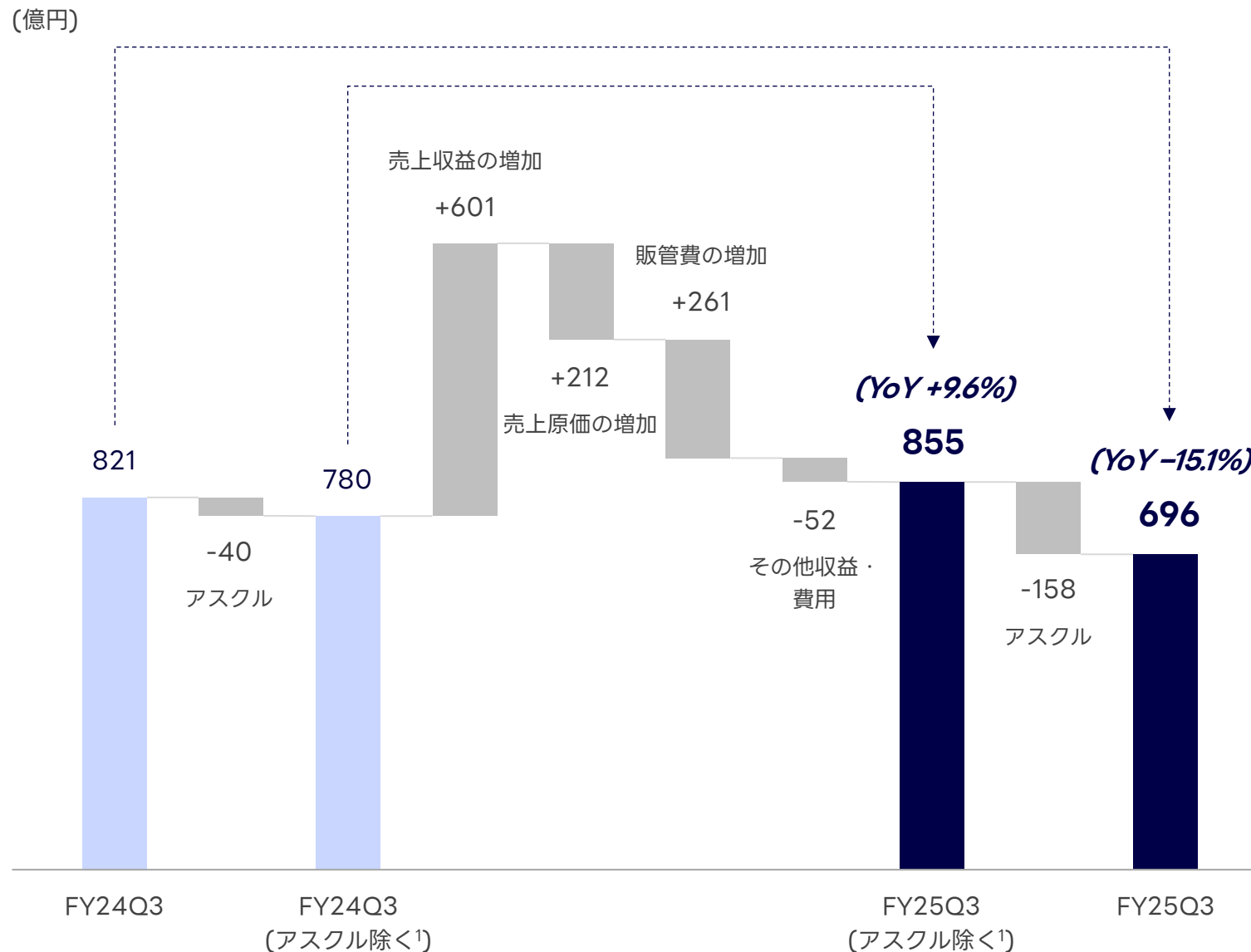
全社 eコマース取扱高 成長率 (YoY)¹



1. 取扱高の定義は補足資料P28参照

2. FY25Q1より、国内リユースに「BEENOS」、海外ECに「Lyst」を含む

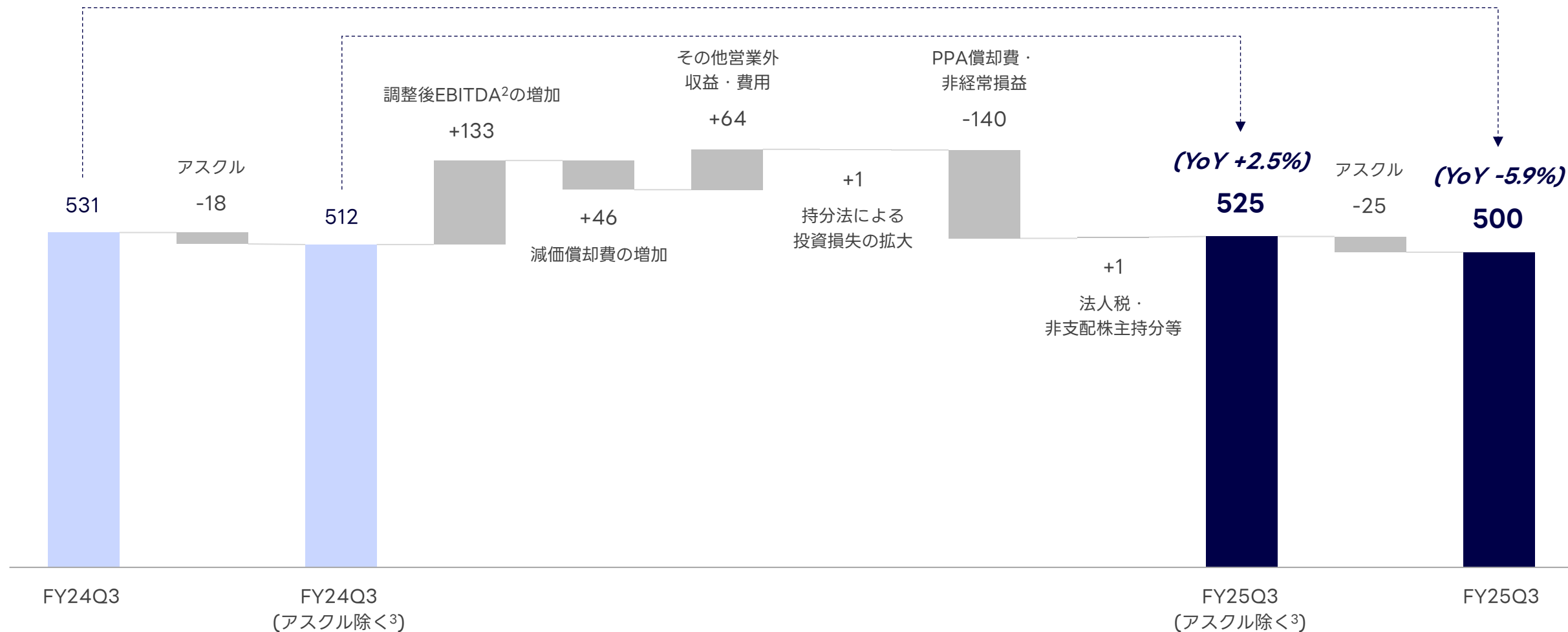
営業利益の増減分析



	(億円)		
	FY24Q3	FY25Q3	YoY
売上収益	3,825	4,426	+601
売上原価	436	648	+212
販売費及び一般管理費	2,608	2,869	+261
その他収益・費用	-	-52	-52
営業利益 (Asクル除く¹)	780	855	+75
Asクル営業利益	40	-158	-199
営業利益	821	696	-124

調整後当期利益¹の増減分析

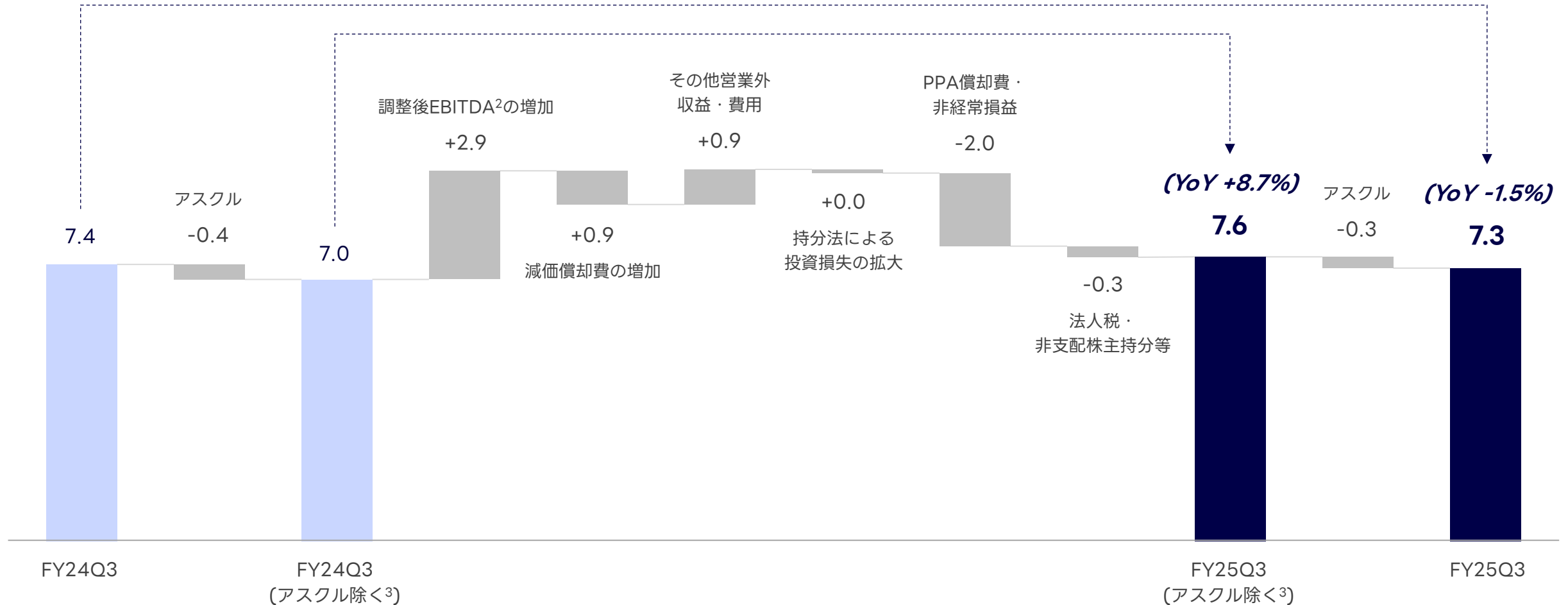
(億円)



- 調整後当期利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益±EPS調整項目±EPS調整項目の一部に係る税金相当額。EPS調整項目: ±EBITDA調整項目+企業結合により生じた識別可能無形資産から生じる償却費±営業外損益項目における非経常損益
- 調整後EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費±EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費等。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益(固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引(一時的な引当金等)等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加
- FY24Q3、FY25Q3の実績値からアスクルを除いたベース

調整後EPS¹の増減分析

(円)



- 調整後EPS: 調整後当期利益/普通株式の期中平均株式数。調整後当期利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益±EPS調整項目±EPS調整項目の一部に係る税金相当額。EPS調整項目: ±EBITDA調整項目+企業結合により生じた識別可能無形資産から生じる償却費±営業外損益項目における非経常損益
- 調整後EBITDA: 営業利益+減価償却費及び償却費±EBITDA調整項目。減価償却費及び償却費: 減価償却費、使用権資産減価償却費等。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益(固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引(一時的な引当金等)等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加
- FY24Q3、FY25Q3の実績値からアスクルを除いたベース

業績概況 (P/L)

(百万円)	FY2024 Q3 ^{1,2}	FY2025 Q3 ^{1,2}	YoY
売上収益	226,030	194,926	-13.8%
LINEヤフー	44,293	72,836	+64.4%
ショッピング事業	22,075	24,593	+11.4%
リユース事業	11,168	16,259	+45.6%
サービスEC事業	10,238	31,576	+208.4%
その他	810	407	-49.8%
ZOZO、アスクル	181,736	122,089	-32.8%
売上原価	96,646	68,724	-28.9%
売上総利益	129,383	126,201	-2.5%
販管費	105,202	114,300	+8.6%
販売促進費・広告宣伝費	25,963	31,318	+20.6%
その他販管費	79,239	82,981	+4.7%
その他収益及び費用	-	-5,262	N/A
営業利益/営業利益率	24,180 (10.7%)	6,638 (3.4%)	-72.5%
減価償却費及び、EBITDA調整項目	17,689	23,848	+34.8%
調整後EBITDA/マージン	41,870 (18.5%)	30,486 (15.6%)	-27.2%

1. FY25Q1に、テクノロジー部門の人件費、データセンターおよび社内インフラに関わる費用の配賦基準を変更。これに伴い、FY24業績を遡及修正
 2. FY25Q3に、組織再編に伴いサービスをセグメント間で移管。これに伴いFY24、FY25Q1、Q2の業績を遡及修正

項目	内訳
LINEヤフー	—
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINEブランドカタログ」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、「LINEショッピング ¹ 」、「Yahoo!クイックマート ² 」、海外EC（「LINE SHOPPING（台湾・タイ）」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、その他）
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、BEENOS ³
サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「LINEトラベル（台湾）」、「LINE MAN ⁴ 」、その他
その他	その他
ZOZO、アスクル	—
ZOZO	「ZOZOTOWN」、「ZOZOUSER」、「Lyst ³ 」、その他
アスクル	アスクルBtoB事業（「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他）、「LOHACO」、「チャーム」、その他

1. 2026年6月1日にサービス終了予定

2. 2025年8月31日にサービス終了

3. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

4. FY25Q2より、LINE MAN CORPORATION PTE. LTD.を連結

項目		主なサービス・商品
eコマース取扱高	—	
国内物販系取扱高	—	
ショッピング事業		「Yahoo!ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINEブランドカタログ」、「LINEギフト」、「LINEショッピング ¹ 」、「LINE FRIENDS」、「Yahoo!クイックマート ² 」
リユース事業		「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、「ZOZOUSED」、BEENOS ³
アスクルBtoB事業 (インターネット経由)		「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
国内サービス系取扱高		「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「出前館」
国内デジタル系取扱高 ⁴		「ebookjapan」、「LINEマンガ」、「LINE MUSIC」、「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、 その他有料デジタルコンテンツ
海外EC取扱高		「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「MyShop」、「ZOZOFIT」、「Lyst ³ 」、「LINE FRIENDS」、 「LINEトラベル」、「LINE MAN」、「LINEスタンプ ⁴ 」、「LINE GAME ⁴ 」、「DOSI ⁵ 」

1. 2026年6月1日にサービス終了予定

2. 2025年8月31日にサービス終了

3. FY25Q1より「BEENOS」「Lyst」を含む

4. 当該サービスの収益は、メディア事業セグメントに計上

5. グローバルNFTプラットフォーム。当該サービスの収益は、戦略事業セグメントに計上。2025年12月30日にサービス終了